

**京都大学図書館機構オープンアクセス推進事業（2016-2021）成果報告会**  
**「オープンアクセスによって広がる教育・研究の可能性」実施概要**

京都大学図書館機構は、オープンアクセス推進事業（2016-2021）成果報告会を開催します。

本報告会では、「オープンアクセスによって広がる教育・研究の可能性」と題し、オープンアクセス推進事業の意義と成果を報告するとともに、教育・研究における KURENAI やデジタルアーカイブの利活用について研究者の視点から紹介します。

図書館機構は、京都大学学術情報リポジトリ（KURENAI）による研究成果の公開と、京都大学貴重資料デジタルアーカイブによる古典籍資料の電子化・公開を2つの大きな柱として本事業を進めてきました。近年は研究データへの対応を進めています。KURENAI やデジタルアーカイブが、収録コンテンツの拡大に伴い、教育や研究に活用される事例が増えています。様々な事例報告を通じ、オープンアクセスが教育や研究活動にもたらす可能性について、研究者と図書館関係者がともに考える機会にしたいと思います。

1. 日時 : 2022 年 3 月 10 日（木）10 : 30 - 12 : 00
2. 開催方法 : Zoom ミーティング（オンライン）開催
3. 主催 : 京都大学図書館機構オープンアクセス推進プロジェクト
4. プログラム :
  - 10 : 30 開会挨拶（引原 隆士 図書館機構長）
  - 10 : 35 第一部 オープンアクセス推進事業の意義と成果  
(オープンアクセス推進プロジェクト)
  - 11 : 00 第二部 オープンアクセスによって広がる教育・研究の可能性
    - ① KURENAI からの教材の発信, その背景と課題:『プログラミング演習 Python 2019, 2021』を例に  
(国際高等教育院／学術情報メディアセンター 喜多 一教授)
    - ② 人社系紀要のオープンサイテーションの試み:「京都大学大学院教育学研究科紀要」「人文學報」(※録画配信)  
(附属図書館研究開発室 西岡 千文 助教)
    - ③ 図画像デジタルアーカイブ公開における IIF の衝撃 — ハーヴァード・イェンチン図書館、スタンフォード大学フーヴァー研究所との試みから  
(東南アジア地域研究研究所 貴志 俊彦 教授)
    - ④ 研究データへの DOI 付与: KURENAI をランディングページとしてデータ使用状況を把握する (※録画配信)  
(大学院理学研究科附属地磁気世界資料解析センター 今城 峻 助教)
  - 11 : 40 ミニ座談会 オープンアクセスからオープンサイエンスへ  
(ファシリテータ: 附属図書館研究開発室 北村 由美 准教授)
  - 11 : 55 閉会挨拶（松井 啓之 図書館機構副機構長）
  - 12 : 00 閉会
5. 対象 : 本学構成員および大学図書館関係者
6. 参加申込 : <https://forms.gle/GQquUK8YjnhZNvKv9>
7. 参加定員 : 300 名（申込先着順）
8. 参加費 : 無料
9. 申込締切 : 2022 年 3 月 9 日（水）17 : 00
10. 問い合わせ : 京都大学図書館機構オープンアクセス推進事業プロジェクト  
e-mail: oa-pt[at]mail2.adm.kyoto-u.ac.jp